

73  
号

February

みやざき県

障害者  
社会参加  
推進センター  
だより

1P

“こころ”のふれあう  
フェスタ2022を開催

宮崎県障害者社会参加推進センター

2P

盲導犬体験イベント  
障がい者差別解消研修会  
障害者週間啓発活動

宮崎県障害者社会参加推進センター

6P

宮崎県「向声会」  
について

宮崎県向声会

3～4P

いちご一会とちぎ大会  
【第22回全国障害者スポ  
ーツ大会】

宮崎県障がい者スポーツ協会

7～8P

昨年の活動報告と  
今年の新しいニュース

宮崎県立視覚障害者センター

10P

想い

宮崎県手をつなぐ育成会

5P

宮崎県精神保健福祉セ  
ンターからのお知らせ

宮崎県精神保健福祉センター

9P

宮崎県身体障害者相談  
センターからのお知らせ

宮崎県身体障害者相談センター

11P

当センターからの  
お知らせ

宮崎県障害者社会参加推進センター

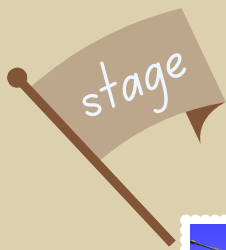
障害者週間啓発イベント

# “こころ” のふれあう フェスタ 2022

を開催しました

令和4年12月10日（土）に宮崎県メディアキット県民文化センター イベントホールにて「“こころ”のふれあうフェスタ2022」を開催し、約250名の方にご来場いただきました。

初出演4組を含む11組（個人及び団体）にご出演いただき、ダンス、手話歌、劇、バンド演奏、楽器演奏、詩吟、朗読、弾き語りなどバラエティに富んだステージを披露していただきました。



進行：Mr.バニー

フェスタ2022出演された皆様（敬称略）  
キャンパスの会、EASE、本田智之、  
望月タマエ、セサミ・ツノ、倉山幸一、  
コーロ・スピリアート、Y'z、  
H・P・ミュージック・サポート、牧原裕樹、  
みなみかぜ



ひい君



みやざき  
キャラわん隊



主催者挨拶

♪ 素晴らしいステージを  
ありがとうございました ♪



会場に設置したメッセージポストには出演者やゲストへ「演奏に感動しました」「心温まりました」「元気をもらいました」等の多くの反響や温かいメッセージが寄せられ、ステージで紹介されました。



香介ライブ

guest stage

ミニライブは香介氏によるピアノの弾き語り。障がい者による国際音楽コンテスト「第18回ゴールドコンサート」で香介バンドとしてグランプリを受賞した香介氏のピアノと歌声が会場にひびきました。初めて聞かれた方からは感動の声が聞かれました。



## 障がいへの理解を深めるための 「盲導犬体験」を実施

令和4年11月3日（木・祝）にフローランテ宮崎で開催された「みやざき健康ふくしま祭り」内で盲導犬体験を実施しました。

参加者はアイマスクをして盲導犬と一緒に歩きました。体験された方にとっては、目の見えない方、見えにくい方が普段どのように感じて歩いているのかを理解するきっかけになったようです。

また、「盲導犬は人と同じだと思う。差別してしまう理由には盲導犬への理解不足があると思う。」といった声もありました。

コロナ感染のため、人数を制限しての体験会になりましたが、障がいのある方への支援の大切さを理解してもらえたのではないかと思います。



## 障がい者差別について理解する研修会 「改めて理解しよう 障害者差別解消法」

令和5年2月2日（木）高千穂町武道館会議室において、障がい者差別について理解する研修会を開催しました。4年前から県内各地で開催しているもので、今年度は高千穂町、高鍋町、日南市の3ヶ所で実施しました。民生委員児童委員の方や福祉関係者などの参加がありました。

終了後に「あたりまえの共生社会の生活ができることが大切」「合理的配慮は障がいのある人への当然の配慮だと思う」といった感想がありました。



高千穂町武道館会議室にて

## 「障害者週間」啓発活動を実施しました



道の駅等にて  
「障害者週間啓発物」の配布



山形屋に  
懸垂幕掲揚

12月3日から9日の「障害者週間」に合わせ、啓発活動の一環として県内道の駅、県立施設等に障害者週間の啓発物を設置しました。

啓発物は、啓発チラシと啓発ティッシュ、障がい福祉施設で作られた製品をセットにしたもの。

また、週間期間中、宮崎山形屋に懸垂幕を掲揚しました。

障がいのある方や福祉への理解が深まることを目指して、今後も続けて参りたいと思います。

# いちごいちえ 会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022



第22回全国障害者スポーツ大会が、「いちご」の生産量53年連続日本一の栃木県で10月29日(土)から31日(日)まで開催されました。台風や新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4年ぶりの開催となった本大会に、満を持して全国から5,600名を超す選手・役員が集結しました。本県からも選手27名、本部役員33名の合計60名の選手団が参加し、スポーツを通じた「一期一会」の出会いを大切にしながら熱戦を繰り広げました。

開会式では、「カンセキスタジアムとちぎ陸上競技場」に秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、大会の幕開けに相応しい紺碧の空の下、県選手団を代表して陸上競技に参加する選手・役員17名が堂々の入場行進を行いました。そして、本県の27名の選手は、栃木県内の各競技会場に分かれて、陸上競技・水泳・卓球(STTを含む)・ボウリング・フライングディスク・アーチェリー・ボッチャの7つの個人競技に参加し、これまで培ってきた力を出し切るべく、宮崎県代表として全力で競技しました。

この大会で本県選手団は、右ページに掲載しているように金10個、銀11個、銅12個の合計33個のメダルを獲得しました。これもこれまでサポートをいただいたコーチや家族関係者の皆様、声援を送っていただいた県民の皆様のおかげであると深く感謝しています。

最終日は、大会に参加した全選手が「カンセキスタジアムとちぎ陸上競技場」に集まり、高円宮妃殿下の御臨席の下、お笑いコンビ「U字工事」の軽快な進行で閉会式が行われました。そして、エンディングは、御当地出身のシンガーソングライター、河口恭吾氏と川崎鷹也氏が澄み切った歌声を披露し、アスリート的心を癒しました。

この大会テーマに掲げてあるとおり、「夢を感動へ、感動を未来へ」とつなげていく営みは、全ての人が心をつなげて臨んでいく必要があります。それぞれの選手の活躍を踏まえて、障がいの理解や障がい者の社会参画が一層進み、障がいの有無に関わらず、誰もが共に支え合う共生社会の実現に向けて取り組むとともに、選手一人一人がこれからも多くの人々に夢と感動を与えるよう活躍することを誓って、11月2日(水)に解団しました。



令和4年度 第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会 宮崎県選手記録一覧

開催期日：令和4年10月29日～31日

開催地：栃木県

NO	競技	区分	氏名	所属	性別	年齢	種目	記録・結果	順位	金	銀	銅				
1	陸上競技	肢体	花坂 啓尋	高鍋町	男	19	50m	8秒35	1	1						
							砲丸投	9m58	1	1						
		2	肢体	坂本 哲朗	宮崎市	男	39	200m	31秒51	3			1			
								100m	15秒06	4						
		3	肢体	中島貴美子	宮崎市	女	54	砲丸投	3m77	1	1					
								ソフトボール投	9m94	1	1					
		4	視覚	那須 優心	明星視覚	女	16	50m	9秒27	2		1				
								1500m	7分48秒74	5						
		5	聴覚	小濱 宙空	都城さくら聴覚	男	14	100m	14秒04	8						
								走幅跳	3m81	2		1				
		6	知的	高妻 直人	みやざき中央	男	17	200m	25秒52	6						
								100m	12秒26	3			1			
		7	知的	宮本 颯太	新富町	男	18	100m	11秒98	1	1					
400m	53秒82							3			1					
8	知的	佐藤 翔悟	高鍋町	男	24	200m	27秒16	6								
						100m	12秒96	6								
9	知的	兒玉 翔	みやざき中央	男	17	1500m	4分53秒50	3			1					
						800m	2分25秒91	7								
10	知的	山田 楓海	延岡しろやま	女	16	200m	31秒83	3			1					
						100m	15秒39	3			1					
11	知的	松垣 香澄	延岡市	女	18	200m	33秒32	2		1						
						100m	15秒44	5								
12	知的	津隈 久輝	延岡しろやま 高千穂校	男	17	200m	27秒53	7								
						800m	2分31秒82	5								
13	知的	高妻直人、宮本颯太 佐藤翔悟、山田楓海			男女混合	4×100mリレー	49秒94	3			1					
14	水泳	肢体	甲斐 清美	延岡市	男	73	25m背泳ぎ	42秒61	2		1					
							50m自由形	1分19秒33	2		1					
15	知的	甲斐野々華	日章学園	女	15	50m自由形	30秒81	2		1						
						50m背泳ぎ	35秒18	2		1						
16	アーチェリー	肢体	田崎 庸典	宮崎市	男	67	アーチェリー リカーブ30m	570点	3			1				
17	卓球	視覚	川野 健一	宮崎市	男	48	STT	4点	1	1						
							肢体	宮村 京子	宮崎市	女	63	一般卓球	3点	1	1	
												知的	木村 健人	門川町	男	18
							精神	工藤 美樹雄	高千穂町	男	44					
21	フライング ディスク	視覚	南園 勝吉	川南町	男	68	アキュラシー5m	7投	3			1				
							ディスタンス	34m14	1	1						
		聴覚	黒木 慎一	日向市	男	48	アキュラシー5m	9投	2		1					
							ディスタンス	31m60	3			1				
		23	聴覚	森 ミヨ子	えびの市	女	75	アキュラシー5m	10投	1	1					
ディスタンス	19m70							6								
24	知的	湯地 翼	みなみのかぜ	男	16	アキュラシー5m	9投	2		1						
						ディスタンス	22m16	7								
25	知的	樋山 海渡	みやざき中央	男	17	アキュラシー7m	8投	1	1							
						ディスタンス	43m64	3			1					
26	ボッチャ	肢体	山代 哲夫	小林市	男	69	ボッチャ座位	1勝1敗	2			1				
							ボッチャ立位									
27	肢体	吉村 昌彦	高鍋町	男	54	ボッチャ立位										
28	ボウリング	知的	酒匂 椎奈	日南市	女	28	ボウリング（青年）	522	6							
										メダル数	10	11	12			
										総数	33					

# 宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により中止となる場合があります。実施状況については宮崎県精神保健福祉センターへお問い合わせください。

## ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・どこに相談したらよいかわからない

### 宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:15 (土日・祝日・年末年始を除く)

※まずはお電話ください。



カラダのゲンキはココロから。

## 宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <http://miyakoro.com>

## 精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後1時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

## 家族教室のご案内

精神疾患(障がい)についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

## 家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

## こころの電話相談

月曜日~金曜日【午前9時~午後7時】

(土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

## 図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。  
※ホームページにパネル等を掲載しています。

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

【アドレス】 <http://www.miya-seiren.com/>

## 宮崎県精神保健福祉センター付近略図



## 交通のご案内

【宮崎駅から】

●タクシー：約10分

●バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分  
宮崎ナナイロ前バス停から7番線(下北方向)で和知川原バス停下車徒歩5分  
又は8番線(平和台行)で花殿町バス停下車徒歩5分

## 宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

【アドレス】 <http://www.seihocenter-miyazaki.com/>

## 宮崎県「向声会」 について

宮崎県向声会は、喉頭がんや食道がんなどで咽頭を摘出せざるを得ない人々が、手術後一日でも早く日常生活及び社会生活を営めることを目的として設立されたものです。



(会員談笑のひとこま)

昭和48年に宮崎県向声会（会長一三好勇氏）を設立し、遠隔地巡回指導事業・シンポジウム開催・小冊子作成・九州ブロック指導者養成研修会・発声指導などの事業に取り組んできました。

### 発声方法や発声練習について

発声方法は、食道発声・高齢化に伴うEL「電気喉頭」発声・シャント発声など多様化しています。スマホなどのSNSの利用で取って代わられても、コミュニケーションが取れるようになっております。

日本喉摘者団体連合会などでは、治療方法の変化や症状の多様化などの変化で「楽に楽しく…」をモットーに、より実用的な発声を目指しています。

現在、月2回の発声練習を行っていますが、参加者の減少が著しく会の続行が難しい状況です。会員の個人によって発病の箇所、手術の方法、手術後の回復、それぞれに異なり、発声の進歩レベルも個人によって差異が生じます。

しかしながら、同じ苦勞を抱える者たちが半月に一度集まって、お互いの健康を確認しながら発声練習に取り組む事も楽しいひと時です。発声の際の苦勞話や日常生活における失敗談等を聞くだけでも大変参考になります。

【日喉連認定咽頭摘出者発声訓練士】

小牧 靖 「食道発声法」

岩切 哲久 「電気式人工喉頭法」

練習について

宮崎県福祉総合センター(宮崎市原町2-22)

内で実施します

(月2回)

※原則として第2火曜日、第4火曜日

13時30分から

【連絡先】

〒889-2541 日南市吾田東5丁目13-1

宮崎県向声会 会長 矢野 睦義

電話/FAX (0987-22-2435)

携 帯

本人090・5724・1954 (ELで聞きにくいかも)

※妻080・1707・6162 (支える事の相談等)

喉頭を摘出された方は、是非ともご参加ください。

## 昨年の活動報告と 今年の新しいニュース

宮崎県立視覚障害者センター



冬は、当センターではスポーツの話題が多くなる時期でもあります。

まず、昨年10月29～31日に栃木県で「第22回全国障害者スポーツ大会」が開催され、宮崎県からは27名の選手が出場されました。

そのうち、視覚障害の部では、フライングディスク競技で南園勝吉選手がディスタンス金メダル、アキュラシー銅メダル、サウンドテーブルテニス競技で川野健一選手が金メダル、そして陸上競技50メートルで那須優心選手が銀メダルを見事に獲得されました。3選手の大活躍、誠におめでとうございます！そしてお疲れさまでした。

次に11月27日には、視覚障害者福祉協会主催の「第36回宮崎県視覚障害者ふれあい健康マラソン&ウォーキング大会」が開催されました。

絶好の秋晴れの下、宮崎市大淀川市民緑地には選手、ボランティア、協力団体の皆様が結集いただき総勢200名を超える大盛況となりました。

特に今年はタンDEM自転車（二人乗りの自転車です）の体験会を、ひむか自転車協会の岩切様、香山様のご協力のもとで実施することができました。1人5分程度の乗車体験でしたが、参加者からは「風を感じて心地よかった」などご好評をいただきました。さらに当センターで実施している「見えない・見えにくい方のためのスマートフォン講座」の青空相談会を行いました。こちら気軽に質問できる機会となったようで多くの方の参加があり喜んでいただきました。



今回この「ふれあいマラソン&ウォーキング大会」には、初めて宮崎北高等学校の生徒の皆さん約30名がボランティアとして参加してくださいました。受付の手伝いや、ウォーキングの同行、タンDEM自転車の乗降補助など、とても頑張ってくださいました。

来てくださった生徒の皆さんと担当の先生、ありがとうございました。またいつもご協力いただいておりますライオンズクラブ（宮崎7地区）、宮崎伴走者協会、慶明会さざなみの会、宮崎産業経営大学もくもく会、宮崎市陸上競技協会の皆様、いつも本当にありがとうございます。

それから、宮崎のウィンタースポーツと言えば、毎年12月の青太マラソンですよ。

12月11日には、第31回となる視覚障害者マラソン宮崎大会（青島太平洋マラソンとの同時開催）が、開催されました。こちらも天候に恵まれ、視覚障害者32名の選手の皆さんが、1万人を超える青太マラソンランナーの中に混じって健脚を競いました。昨年の大会も前回同様、42.195キロのフルマラソン種目のみでしたが、伴走者の方と絆をつないで木花の運動公園～橘通り～宮崎神宮折り返し～青島～運動公園（ゴール）までの長い道のりを疾走されました。選手の皆様は、喜びの声とともに、「ありがとう」と感謝の言葉をスタッフにもかけてくださいました。

次回は、できれば3kmや10kmといった短い距離の種目も復活してこの視覚障害者マラソンがより多くの方が参加できるよう願っております。選手、伴走者、そして関係者の皆様大変お疲れさまでした。

さて、来年度に向けての視覚障害者センターの新しい動きとして、延岡ライトハウス点字図書館において、スマホ講習会を開催できる見込みとなりました。視覚障害者のスマートフォン利用への支援を広げるため、多くの皆様の参加をお待ちしております。この件に関しましては、当センターの大賀又は富永までお問い合わせください。

以上昨年の活動報告と併せて今年の新しいニュースでした。



## 宮崎県身体障害者相談センターからのお知らせ

脳の病気や頭のケガの後から、このような症状でお困りのことはありませんか。  
もしかしたら「高次脳機能障がい」かもしれません。  
宮崎県身体障害者相談センターではご相談をお受けしています。

- ・約束をわすれてしまう
- ・新しいことを覚えられない
- ・大事なものをどこにしまったかわからなくなる 等

記憶障がい

- ・注意力や集中力が低下した
- ・ミスが多くなった
- ・作業が長く続かない 等

注意障がい

- ・約束の時間に間に合わない
- ・物事に優先順位がつけられない
- ・作業を段取りよくできない 等

遂行機能障がい

- ・急に怒ったり泣くなど感情コントロールが上手くいかない
- ・場の雰囲気は無頓着で思ったとおりに行動する
- ・やる気が起きない/自発的に行動できない 等

社会的行動障がい

- ・手足は動くのに意図した行動や支持された行動ができない 等
- ・見えていたり聞いていたり触れていたりするがそれが何かわからない 等
- ・聞いたり読んだりしたことを理解できなかったり言葉や文字で表現できない 等

失行症

失認症

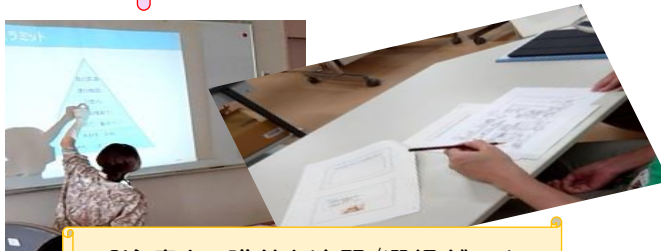
失語症

令和4年8月18日 宮崎県身体障害者相談センターは高次脳機能障がいの方の通所教室「結」を開設しました。

「結」は、高次脳機能障がいのある方の自立と社会参加を支援いたします。

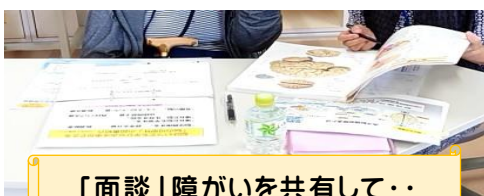
「結」は、高次脳機能障がいの方が、学習と実習によって生活上の支障に気づき、代償手段を用いて生活しやすくする方法を学ぶ場所です。  
8月からは5名の方が作業療法士の訓練プログラムに基づき、週に1度気づきや学びを深められています。  
令和5年度受講生については、宮崎県身体障害者相談センターのホームページなどで募集を行うことに致しますので、当事者の方、そのご家族の方及び支援者の方など、ご検討ください。

「結」の風景

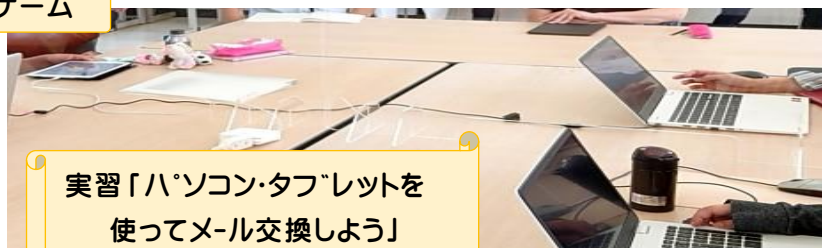


「注意」の講義と演習/選択ゲーム

お問い合わせ  
〒880-0032 宮崎市霧島 1-1-2  
宮崎県身体障害者相談センター  
電話 (0985) 29-2556  
(担当) 黒木



「面談」障がいを共有して・



実習「パソコン・タブレットを使ってメール交換しよう」

# 想

一般社団法人宮崎県手をつなぐ育成会 顧問  
高鍋町手をつなぐ育成会 会長

大 上 彰 弘

今年、宮崎県手をつなぐ育成会会長を退任しました。就任当初は、まさか6年3期にわたり務めるとは、思いもしませんでした。

就任早々に、やまゆり園事件が発生し会長としての定見も定まらないままに、対策会議等出席やマスコミ取材に対応して、気が付けば1年目が過ぎていったような気がします。1期目は全く無我夢中で組織の掌握、宮崎県等の主催する会議等に懸命に走り回った記憶ばかりしかありません。最終の2年余はコロナ感染症で対面の催し、会議等が中止となり文書協議ばかりでしたが、オンライン活用と言う新しいフィールドワークが始まったことは画期的な出来事と言えるかもしれません。

県大会の開催を新規行事の核にしたいと計画しましたが、1回目は台風直撃により中止となり、結局は2回の実施に終わってしまい会長としては心残りのままですが退任となりました。会員の方には十分な結果を残せなかったことが心残りです。

障がい者をめぐる環境は、私の息子が生まれた当時に比べれば確かに恵まれた状態になったと思います。それでも個人的な考えでは健常者と同等になったとはまだ言い切れないのが現状だと思います。

公共交通機関、施設等での障がい者施策についても、素人の私が見ても不備がまだまだ多いような気がします。例えばJR駅でエレベーターがある駅がほとんどない等がよい例で、障がい者が単独で行動することが困難な事例ばかりです。

自己選択、自己決定がよく言われるようになりましたが、果たして障がい者本人が選択、決定することが本当の意味で100%できるようになったのでしょうか？

ちょうど12月に北海道の福祉施設での結婚問題で不妊治療実施者が8組16名もあったと言うことが報道されました。施設側は子育てのknow-howがない、親や本人の同意を得てのことだと強調されていました。

しかしなのです。私の個人的な考えですが自分の意思をはっきりと言える障がい者の場合には問題ないと思います。そうではないと思われる障がい者の場合には、第3者（社会福祉士等施設外の人）の立ち合いが必要であり、客観的に判断される必要があると思います。今まで障がい者が家庭を持つことを、たぶん誰もが考えてこなかった、口に出さなかった現実が戸惑いをうんでいると思います。

障がい者スポーツの世界でも地方では施設整備も障がい者に十分かと言えばまだまだ問題が山積んでいます。オリパラクラスでの華やかさは、夢や希望を与えてくれましたが、一流になれなくても楽しくスムーズにスポーツが行える環境が十分だとは言えません。

本人を中心においた環境づくりは、まだまだこれからです。頑張っていきましょう。

## 宮崎県 障害者社会参加 推進センター からのお知らせ



「ココロのふれあうフェスタ2023」の日程・会場が決まりました。  
令和5年12月9日(土)に宮崎市民文化センター「イベントホール」で開催します。

ステージ出演者については6月頃に公募をする予定です。公募については宮崎県障害者社会参加推進センターフェイスブックでもお知らせします。

### 相談窓口のご案内

#### 相談時間

月曜日から金曜日

午前9時から午後5時

※正午から午後1時、  
休日・年末年始は除きます。

#### 障がい者差別相談窓口

0985-23-3388

soudan@miyashinren.jp

障がいを理由として不利益な取扱いをされたり、障がいのある人が障がいのない人と同じように日常生活を営むことができるよう、必要に応じた支援などの合理的配慮を行わないなどの差別に関するご相談に応じます。

#### 障がい者110番

0985-26-3040

障がいのある方が安心して生活ができるように、様々な問題について情報提供や助言をいたします。障がいのある方やそのご家族または関係者からのご相談に応じます。

電話での相談を受け付けています。  
(障害者差別相談窓口についてはメールでも受け付けます。)

### Study

#### 障害者差別解消法とは？

「障がいを理由とする差別」を解消するために、行政機関や民間事業者に対して、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を行うことを求めています。

#### 「不当な差別的取扱い」とは？

障がいのある人に対して、正当な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりする行為をいいます。

#### 「合理的配慮」の提供とは？

障がいのある方から、何らかの配慮を求める意思の表明があった場合に、負担になりすぎない範囲で、その方の障がいにあった工夫や方法で、社会的障壁を取り除くために配慮することをいいます。